

涅槃像と十六羅漢の掛軸

掛軸は、寛保2年(3年(1742年)~1743年)に領主や庄屋の寄進により作成されたもので、木箱には作者や寄進した人々の名前がびっしりと記されています。
涅槃像は、幅2.2m×長さ3.0mと大型で、村田区公民館の天井から吊り下げても畳に付いてしまうほどです。

十六羅漢は、幅1m×長さ2mの2本組みで、仏陀(お釈迦様)から命ぜられてこの世にとどまり仏法を護持する16人の羅漢様が描かれています。
どちらも長い間大切に引き継がれて来た村田区の宝物です。



認定番号第ふるさとH24-17号
推薦者 村田区

六地藏(六面地藏)

村田区の六地藏尊は、六角柱の石幢(石塔)で、傘の下、6面全てにお地藏様が刻まれています。以前は、村外れに有りましたが、ほ場整備のために観音堂(霊鷲山観音堂)境内に移されています。

建立は「文明8年(1476年)6月丙申彼岸」とあり、537年前の建立で、市内の六地藏の中でも、かなり古い物です。石幢は古さびていますが、端麗で室町時代の名工の作と思われる。地元では、お地藏様の足先が開いているため「開き地藏尊」と呼ばれ、村田区の貴重な宝物として大切にされています。



認定番号第ふるさとH24-18号
推薦者 村田区

平成24年度菊池市人権フェスティバル小学生高学年の部入選作品
忘れてはいけない戦争の話

菊池南中学校1年

笠 結希乃

「みんな88歳とか90歳以上の人たちばっかりバイ。」とお父さんがテレビを見ながらつぶやいた。「何のこころ？」と私はたずねた。「戦かん大和に実際に乗船しottaた人たちがお話をされる番組たい。戦争があつたころの若かつた人たちが、もうそんな高齢になられとるとたい。」

戦争が終わつて67年。20歳だつた若者も87歳になつている。戦争を実際に経験したことがある人たちのお話を、何年先まで聞くことができるだろうか。

私は、戦争を体験した人に当時のお話を聞いておきたいと思つた。まず、おじいちゃんとおばあちゃんに話を聞きに行き、空しゅうの怖かつた体験を質問した。おじいちゃんか私と同じ11歳の時に戦争が始まり、中2で花房飛行場の工場へ、その後は中3まで大牟田の工場で火薬を作つていたそうである。大牟田では空しゅうがあり、しょうい弾という燃える爆弾がた

くさん落とされ工場が燃えたことや、アメリカの飛行機が機関じゅうをうつてきた時、墓石のかげに必死で逃げ込んだことなどの怖かつた経験を話してくれた。アメリカの飛行機は、運転する人の顔が見える位低く飛んでいたそうだ。

おばあちゃんは小学校に入る前、友達のお兄さんが空しゅうでかくれていたが、大切なシャツを河原に取りに行った時、近くを攻げきされ、大げをしたそうである。花房飛行場が空しゅうにあつた時は、水からも燃えているのが見えたそうだ。テレビや映画で空しゅうの場面を見たことはあつたけど、実際に身近な人が経験し「怖かつた」「知つている人が亡くなつた」と聞いたのは初めてだつた。

また、戦時中の学校や家の生活は、今は大違いで、中学生は工場に働きに、小学生は農作業のお手伝いに、授業らしいことはほとんどできなかつたそうである。なぜかと聞いてみると、たくさんおの男の人たちが兵隊として戦争に行き、働く人が足りなくなつたため、女性や子どもたちが働いていと教えてくれた。

おばあちゃんは、二人のお兄さんが戦死されたことが一番悲しかつた出来事で、最初のお兄さんは

村全体でおそう式があつたけど、次のお兄さんは終戦近くだつたので家族だけでおそう式をして骨も帰つてこなかつたらしい。パイロットになつて、両親を世界旅行に連れて行きたいと話されていたお兄さんだつたそうである。

おじいちゃんに「戦争のころの夢は何？」と聞いた時、「なかつた」と言われたことにはおどろいた。理由は、「卒業したら戦争に行つて、20歳までには死ぬと思つたから、夢はなかつた」そうである。私くらいの年令の時に、おじいちゃんたちは、たくさん苦労をしていたのだと思つた。

こんな大変な戦争中でも、楽しかつたことは、「友達や兄弟と話したこと」だつたのは、二人とも同じだつた。私も、友達や家族と仲良く話す時間はとても好きだ。昔も今も、戦争の時代も平和な時代も、だれかと仲良く話す時間はみんなが好きなの時間だと思つた。

最後におばあちゃんが「戦争は大きらい。絶対いや。」と話したことがとても心に残つた。67年たつても思い出せば、とてもとても悲しい思いをさせる戦争。その戦争をくり返さないために、私たちは戦争を経験した人たちの話を忘れてはいけないと思つた。

菊池夢美術館情報

問い合わせ先 菊池夢美術館 ☎0968(23)1155

第9回夫婦の手紙絵手紙作品展
期間 ~平成26年1月31日(金)



絵手紙部門最優秀作品

開館時間 午前9時~午後5時30分
※期間中の休館日はありません。
年末年始は開館時間が変わります
12月29日(日)~平成26年1月3日(金)
午前10時~午後4時

わいふ一番館だより

問い合わせ先 わいふ一番館 ☎0968(24)6630

手織り・ちぎり絵・二人展 池野谷まち子・竹田由美子
期間 12月3日(火)~12月15日(日)

2人共新旧作品ありますが、90歳池野谷さんの独学で学ばれた素晴らしいちぎり絵と手織りのコラボを1度ご覧ください。

写友さくら『春夏秋冬』鶴長広志

期間 12月17日(火)~平成26年1月19日(日)

さまざまな四季の彩りを写真に収めました。物語を聞くように観てください。

【まちかど資料館・企画展示室】

菊池一族の墓碑を巡る

~24代栄枯盛衰の果て菊池一族ここに眠る

期間 12月5日(木)~平成26年3月30日(日)

菊池一族は約450余年もの長期にわたり中世の混乱の時代、菊池の繁栄を保ち続けました。また、征西府を菊池・太宰府に置き九州の統一をも図りました。広域に点在する菊池一族の墓碑を巡り、一族の功績を辿ります。

※休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)

ふるさと緑の便り
菊池グリーンツーリズム

問い合わせ先
きくちふるさと水源交流館
0968(27)0102

エネルギープロジェクト

▼農村資源とエネルギー

皆さんはドイツの「バイオエネルギー村プロジェクト」を知っていますか？

農村に必要なエネルギーを、全て農村資源で生み出すことを目指したプロジェクトのことです。ドイツでは、既に80もの農村集落がエネルギーの自給をしています。熊本県の家庭で消費されるエネルギーは、平均で1世帯当たり年間約23万円。320世帯が住む水源地域だけでも年間7千万円を超えるエネルギーを地域外から買い取っている計算になります。省エネは大切ですが、地域外からのエネルギーを減らすことも大きな意味を成します。

水源地区でもエネルギーについての取り組みを始めました。小水力発電の視察や勉強会、太陽光発電ワークショップを開催しています。太陽光パネルを地域に設置し、外灯などに利用する予定です。また、林業の間伐材を熱源に活用する取り組みも計画しています。身近なエネルギーに目を向けてみませんか？

「はい！こちら菊池市消費生活センターです！」(24)

問い合わせ先 菊池市消費生活センター ☎0968(36)9450
(月)~(金)午前10時~正午、午後1時~午後4時 商工観光課入り口

インターネットトラブルに注意！

▼生活とインターネット

買い物やゲーム、情報収集のほか、電子メールや電子掲示板など、今やインターネットは私たちの暮らしと切り離せなくなっています。それに伴い、インターネットに関連する消費者相談も増え続け、アダルト情報サイト、出会い系サイト、オークション、アフィリエイトなどに関する新しいトラブルが次々と発生しています。

▼インターネット取引

インターネット取引とは、オンラインショッピングなど、インターネットなどのネットワークを利用して行われる取引のことです。次のような相談事例があります。

- ①会員登録を解約しようとホームページを見てみたが、解約手続きをする箇所が見つからず解約できない。
- ②共同購入型クーポンを購入した。クーポンをキャンセルし

て払い戻したいが、できないと言われた。

▼インターネットオークション

その名のとおり、インターネットを利用して行われるオークションのことです。インターネットに関するトラブルの中でも、相談の頻度が高い取引です。

- ①中古車を落札したが納車後すぐに不具合がおきた。購入時にはそのような情報はなかった。
- ②落札したパソコン部品の不具合について、メーカーに問い合わせたら「正規ユーザーではないので対応しない」と言われた。

▼トラブルが発生したら……

インターネットは日々進化しています。細心の注意を払っていただいても、トラブルに巻き込まれる可能性は充分にあります。万が一トラブルが発生したら、一人で悩まず、消費生活センターに相談してください。

消費生活センターでは専門の相談員が常駐しています。相談は無料です。